

私に出来そうな被災地の農業再生について

1. はじめに

このレポートでは、自分に出来そうな被災地の農業再生の一つである、被災地産の農作物を積極的に購入することについて考察していく。

2. 被災地産の農作物

被災地産、殊に原発事故による出荷停止や風評被害などを大きく受けた福島県産の農作物は、キチンとモニタリングされて安全が確認された物のみが出荷されているのは、農学部の各講義で学習した。しかし、消費者の不安は中々払拭されず、これらの農作物は街中のスーパーマーケットや八百屋などではあまり売られておらず、売られている場合も積極的に購入しようとする消費者は少ない。事実、農作物販売量は震災前に比べると著しく減少しており（表 1）、被災地の農家の方々は非常に厳しい状況に立たされている。

区 分				3 県平均	福島県	参考	
						岩手県	宮城県
				(1)	(2)	(3)	(4)
農産物販売収入							
	平成 23 年	(1)	32	58	45	27	
	平成 24 年	(2)	66	75	57	64	
農業所得							
	平成 23 年	(3)	23	43	29	19	
	平成 24 年	(4)	59	54	34	61	

表 1 農業（震災前（平成 22 年）を 100 とした農産物販売収入、農業所得の水準）

3. 被災地支援のために出来ること

この状況を踏まえ、自分にもできそうな被災地の農業支援といえ、被災地産の農作物を積極的に購入し、被災地の農家の方々の金銭的な負担を少しでも軽くすることであると考える。直接被災地に赴いて放射能測定や除染をしたり、農作物の出荷を手助けしたりするよりも直接的な効果は薄いかもしれないが、専門知識を持たない自分にとって出来ることはこれが最善の手段であると考えている。

福島県産の農作物を取り扱う店はインターネット上のショップには多数存在する（リンク2参照）。これらのショップなどを活用して、風評に惑わされず福島県産の農作物を購入することが、今後の被災地での農業を再生していく重要な柱になっていくであろう。

4. 参考文献

表1：「東北農政局 第60次福島農林水産統計年報（平成24、25年）」

<http://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/toukei/nenpo/other/60fu_32.xls>（2015年12月8日アクセス）

リンク2：「福島県産農作物ネットショップまとめ」<<http://tactweb.co.jp/fukushima/>>（2015年12月8日アクセス）